

臨床研究実施についてのお知らせ

大阪市立大学大学院医学研究科
先端予防医療学
代謝内分泌病態内科学

【研究課題名】

血漿中キサンチン酸化還元酵素活性と生活習慣病、動脈硬化との関連性の検討

【研究期間】

参加者の MedCity21 受診期間：2015 年 1 月 1 日～2022 年 12 月 31 日

【研究の意義・目的】

尿酸はプリン体の最終代謝産物であり、キサンチン酸化還元酵素によりヒポキサンチンがキサンチン、キサンチンが尿酸へと代謝され生成されます。高尿酸血症患者さんでは、高血圧・肥満、糖尿病などの生活習慣病や動脈硬化の有病率が高いことが知られています。一方、キサンチン酸化還元酵素を抑制する薬は、すでに高尿酸血症の治療薬として用いられており、高血圧、肥満、腎機能障害、動脈硬化の進展を抑制する可能性が報告されています。今回、血漿中のキサンチン酸化還元酵素活性と、生活習慣病、動脈硬化との関連を明らかにすることで、生活習慣病、動脈硬化の予防に貢献し得る大変有意義な研究と考えています。

【研究の方法】

2015 年 1 月 1 日～2022 年 12 月 31 日に大阪市立大学医学部附属病院先端予防医療部附属クリニック MedCity21 で人間ドックを受診された方のうち、生活習慣病、メタボリックシンドローム、動脈硬化検査を行い、かつバイオレポジトリ構想への包括的同意をして頂いた受診者様の血液サンプルと検診データを使用させていただきます（観察研究）。血漿中キサンチン酸化還元酵素活性と生活習慣病、動脈硬化との関連を検討します。データの研究使用への同意を撤回される場合は、下記の連絡先までご連絡ください。

【研究組織】

研究代表者

大阪市立大学大学院医学研究科 代謝内分泌病態内科学 稲葉雅章

実施分担者

大阪市立大学大学院医学研究科 先端予防医療学 福本真也

大阪市立大学大学院医学研究科 代謝内分泌病態内科学 藏城雅文

共同研究組織

株式会社三和化学研究所

【本研究に関する問い合わせ先】

研究責任者：稲葉雅章

住所：〒545-8585 大阪市阿倍野区旭町 1-4-3

電話：06-6645-3806

FAX：06-6645-3808